

## 競争的資金等の適正な運営・管理のための基本方針及び行動規範

2020年6月10日制定  
代表取締役 原 丈人  
(最高管理責任者)

### 1. 基本理念

株式会社デフタ・キャピタルは、「人類にとって必要となる革新的技術を開発する企業に資金を投じ、新産業を創生する」ことと「革新的医学の事業化を行い、天寿を全うする直前まで健康であることを実現する」ことを理念として、事業を行っている。

役職員一人一人が、これら理念を念頭に置き、競争的資金をはじめとする公的研究費は国民の尊い税金を原資とした公的資金であり、これらを使用して研究開発等の事業を行っていることをよく認識し、自ら不正を起こすことがないよう、業務に誇りを持ち、誠実に行動することが重要である。

また、上司、同僚、部下とのコミュニケーションを図り、それぞれの役職における役割をお互いに共有しながら、その役職における責任を果たすとともに、周囲のことを含めて疑問に感じたこと等を広く相談する等により、風通しの良い、不正を起こさない組織とし、社会の信頼と期待に応えることを心掛ける。

### 2. 基本方針

この基本理念を役職員が常に念頭におき行動することとし、以下の基本方針に従って、競争的資金等の適正な運営・管理を図るものとする。

- ① 競争的資金の運営・管理を適正に行うため、運営・管理に関わる者の役割・責任の所在・範囲と権限の体系を明確にして、社内外に公表する。
- ② 競争的資金の不正な使用を発生させないために、不正を誘発する要因を除去し、十分な抑止機能を備えた環境・体制の構築を図る。
- ③ 不正を発生させる要因を把握し、具体的な不正防止計画を策定・実施することにより、関係者の自主的な取組を喚起し、不正の発生を防止する。
- ④ 業者との癒着の発生を防止するとともに、不正につながりうる問題が捉えられるようシステムを作って管理する。
- ⑤ 当社の規模、特性に適した実効性のある体制を整備するために、社内における情報共有に努める。
- ⑥ 会社全体の視点から実行性のあるモニタリング体制を整備・実施する。また、当社の実態に即して、不正が発生する要因を分析し、不正が発生するリスクに対して定期的な監査を実施し、恒常的に組織的牽制機能の充実・強化を図る。

### 3. 行動規範

役職員は次の行動規範にもとづき競争的資金等の適正な運営・管理を行う。

#### (1) 公的資金を使用する機関としての責任

主たる原資が国民の税金であることを念頭に、高い倫理意識をもって、国民の期待と信頼に応えるべく予算を執行する。

#### (2) コンプライアンス

関係法令及び関係規則等を常に遵守し、談合や癒着などの不正な取引を排し、適正に予算を執行・管理する。

#### (3) 説明責任

予算執行に関しては、仕様・要求を明確化し、執行の透明性を確保し、予算執行に関する説明責任を果たす。

以上